

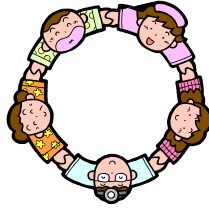
カシオペア地域医療福祉連携研究会ができました

地域医療福祉連携室

カシオペア地域医療福祉連携研究会とは？

入院をきっかけに介護が必要になることが多くあります。また介護を必要とされている方が複数回の入院が必要になる場合もあります。このように**医療と介護は密接な関係にあるのですが**、今までは保険制度が異なることなどから病院職員と介護職員が同じテーブルで話し合う機会は多くありませんでした。

患者様が身近な地域で病状にあつた適切な治療・介護を効率よく受けられるためには、スムーズな医療福祉の連携が必要です。この研究会には、カシオペア地域の県立病院と介護保険施設が参加し、**医療福祉連携を円滑にする取り組み**を行っています。



どんなことをしているの？

取り組みの一例としては、**医療福祉職員の研修会**があります。研修会では、同じ地域にありながら施設ごとに異なっている治療食の形態を統一する方法や、先進的な介護の取り組みなどの研修を行い**知識と課題の共有化**を図りレベルアップを行っています。

また、**患者様に関する情報の共有**を行っています。これは、患者様が病院から退院した後、介護保険サービスを利用して生活を支えていくことがありますが、そのためには退院前に病院とケアマネジャーが密に連携を取って、**患者様の状況を理解**することが重要です。情報共有の仕組みが活用されれば、**医療と介護を切れ目なく受けられることができる**他、状態を何回も聞かれることが無いなど、患者様の負担や不安が少なくなります。

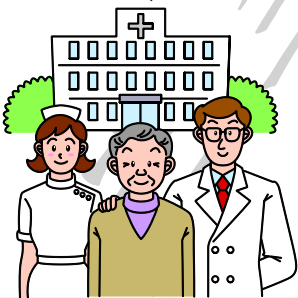
今後は？

現状では、カシオペア地域の医療福祉の活動は十分な点が多々ありますが、制度的・経済的など様々な要因から一朝一夕で解決できるようなものではありません。今できることは、地域の資源である私たち医療福祉関係者自らが、その資源を最大限効率よく利用する方法を考えていくことだと思います。

さらに、地域の課題に対して関係機関がバラバラに取り組むよりも、**地域で統一した取り組みを行うことが解決への近道**と考えます。研究会には病院、福祉施設、ケアマネジャーなどが参加しており、様々な視点から地域の課題を考えることができます。このような研究会の利点を活かし、今後もカシオペア地域の医療福祉の充実にとって効果的な取り組みを積極的に行っていきたいと思います。

医療福祉の連携には無限の広がりがあります。まずはカシオペア地域の全ての医療福祉職員に研究会の活動に参加いただき、研究会の活動を広めていきたいと思っています。また今後は、**診療所や歯科医、行政機関、障がい福祉分野の方々や圏域を越えた連携**を考えています。

地域の住民の皆様が変化を感じるまでにはまだまだ長い道のりであると思いますが、**一歩一歩前進**するため努力していきます。



お知らせ

二戸病院では、医療に対する正しい知識の普及等を目的とした公開講座を行っています。どなたでもご参加いただけます。どうぞ、お気軽にご参加ください。

《日時》平成23年2月26日(土)午後2時~3時 《場所》岩手県立二戸病院 地下会議室
《テーマ》「二戸病院のがん診療について -患者の意向に沿った緩和ケア-」
《講師》岩手県立二戸病院 外科長 佐藤 一
《参加費》無料 《問い合わせ先》岩手県立二戸病院 医事経営課(23 2191)

